

令和5年度研究構想図

国語科教育の目標（新指導要領）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通りに育成することを目指す。

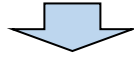
- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人とのかかわりの中で、伝えあう力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉はもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学校教育目標

- 強い子
- やさしい子
- 考える子
- はたらく子

児童の実態

- 自分の考えをもつことができる。
- 友達の考えの良さに気付くことができるが、自分の考えとの相違点について、深めることができない児童がいる。
- 意欲的ではあるものの、受動的であるところがある。



《研究主題》

主体的・対話的で深い学びを実現する国語科の創造

《目指す児童像》

- ・読みを通して、主体的に自分の考えをもてる子
- ・根拠をもって、自分の考えを表現でき、友達同士で議論し合える子
- ・課題解決を通して読みを深められる子。

〈対話的〉

- 根拠をもち、自分の考えを表現する。
- 他者の考えに興味をもつ。
- 自分と他者の考えを比較して、共通点や相違点に気付く。
- 他者の考えの良さに気付く
- 友達同士で議論し合える。
- 自分の考えを吟味する。

〈主体的〉

- 関心をもって取り組む。
- 見通しをもって活動する。
- 自分の考えをもてる。
- 粘り強く取り組む。
- 自分の課題をもてる。

〈深い学び〉

- 既習事項を生かす。
- 考えを再構築する。
- 自分の課題を解決するため、他者の考えを取り入れ、生かす。
- 考え方の変容を振り返る。
- 学んだことを生活や他の単元（題材）や教科等につなげて考える。
- よりよい考えを見出す。
- 作者の思いや願いを捉える。

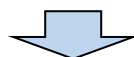
研究仮説

主体的に学習に取り組めるように授業改善することにより、児童は対話的に解決を図り、学び（読み）を深めることができる児童が育つと考えた。



〈研究の視点〉

主体的に学び続けることを視点として、単元の最終目標（課題）を明確にして、児童が課題解決に向けて楽しく学び続けられる学習計画を工夫し、深い学びがうまれる授業研究。



《研究主題にせまるための手立て》

- 【手だて1】 課題の工夫
- 【手だて2】 学習計画の工夫